



CONTENTS

- P1 本学学生が研修で講師を務めました
 P1 オープンキャンパスに卒業生が参加してくれました
 P2 「夏休み子ども科学教室 2024」を開催しました
 P2 「令和6年能登半島豪雨災害義援金」の街頭募金活動を実施

- P3 産学連携企画「こども達と一緒にウォールアート制作」
 P4 装着型サイボーグ「HAL」体験授業が行われました

発行 東京保健医療専門職大学
教育後援会

〒135-0043

東京都江東区塩浜 2-22-10

電話番号: 03-6272-5671

FAX 番号: 03-6272-5672

電子メール: gakusei@tpu.ac.jp

本学学生が研修で講師を務めました

2024 年 7 月 6 日（土）、江東区青少年交流プラザ（江東区亀戸 7-41-16）で開催された「ヤングボランティア育成研修」において、作業療学科 3 年生の箕田 有紗さんが講師を務めました。

「ヤングボランティア育成研修」は、江東区在住・在学の中学・高校生を対象としたボランティアを基礎から学び、ボランティア活動の第一歩を応援するイベントです。

箕田さんは本学ボランティアサークルの代表を務めており、学業と並行して日々さまざまなボランテ

ィア活動に取り組んでおり、始めたきっかけやこれまでの活動、ボランティア活動のなかでうれしかったこと、ボランティア活動を通して考えたことなどを参加者たちに向けて話しました。

東京保健医療専門職大学は、学生の皆さんの活躍を応援し協力します。

本研修の貴重な機会を設けていただきました「江東区青少年交流プラザ」および「社会福祉法人江東区社会福祉協議会 江東区ボランティア・地域貢献活動センター」の皆様にご心より感謝申し上げます。



研修の様子①



研修の様子②



講師の江東区ボランティア・地域貢献活動センターの牧田先生と箕田さん

オープンキャンパスに卒業生が参加してくれました

現在、理学療法士、作業療法士として病院などの現場で活躍している本学初の卒業生である 1 期生 6 名に 8 月 4 日（日）のオープンキャンパスに参加してもらいました。

当日はトークショー形式で在学学生から卒業生の皆さんに色々と質問があり、専門職大学の 4 年間の学

びや思い出・国家試験・就職・社会人 1 年目の様子などを話してもらいました。

トークショー後は来場者や在学学生に優しく話しかけ、実際に理学療法士、作業療法士になってからのことを来場者や後輩に伝える様子など社会人として成長した 1 期生の姿がみうけられました。

在学学生、教職員一同、1 期生の皆さんの活躍を心より応援しております。



トークショーで登壇する卒業生



卒業生（1期生）の皆さん



卒業生と在学学生の皆さん

◆「夏休み子ども科学教室 2024」を開催しました

「日本電子株式会社」様にご協力いただき、本学作業療法学科教員の佐々木先生による「夏休み子ども科学教室」を2024年8月14日（水）・15日（木）の2日間にわたり開催しました。

この教室は、地域の小学生の子どもたちを対象に、「科学の面白さの体験」と「夏休みの自由研究」に役立ててもらうことを目的としたイベントです。好評につき、今年で3回目の開催となりました。

「電子顕微鏡でミクロの世界探検」というテーマで開催し、参加した子供たちに電子顕微鏡で見てみたい物を持参してもらい、昆虫や葉っぱ、髪の毛や食べ物など様々な物を電子顕微鏡で観察しました。

【参加した子どもたちからの感想】

- ・ かんさつするのが楽しかった
- ・ 見る物が大きく複雑な形を見られた
- ・ 非日常な体験ができた
- ・ 顕微鏡を自由にさわられて楽しかった
- ・ 模様がなさそうなものでも模様があり楽しかった
- ・ にんにくのブツブツとか細かいところが見られて楽しかった
- ・ ほこりの研究ができ、他の話も色々と聞けて楽しかった



観察するための準備中



電子顕微鏡を操作する様子



ミクロの世界を探検

◆「令和6年能登半島豪雨災害義援金」の街頭募金活動を実施

東京メトロ東西線木場駅前（2024年10月10日（木））および東京メトロ東西線東陽町駅前（2024年10月11日（金））にて、本学学生・教職員が江東区社会福祉協議会のご協力により、「令和6年能登半島豪雨災害義援金」の街頭募金活動を実施しました。

本活動は、令和6年能登半島豪雨で被災された方々を支援するため、本学ボランティアサークルが主体となり、「TPUと地域の若者たちが能登の被災地にエールを送るプロジェクト」として企画・実施された活動です。

いただいた義援金は江東区社会福祉協議会を通じて被災地へ全額寄付致しました。

多くの方々に募金いただき、本当にありがとうございました。

令和6年能登半島豪雨により、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に、皆様の安全と被災地の1日も早い復興を、心よりお祈り申し上げます。



当日の募金活動の様子①



当日の募金活動の様子②



当日の募金活動の様子③

産学連携企画「こども達と一緒にウォールアート制作」

産学連携イベントとして「株式会社 KUMA'S FACTORY」様にご協力いただき、校舎内の壁面にこども達と一緒にウォールアート制作を行いました。

【1回目】2024年8月11日（日）

【2回目】2024年11月3日（日）

この企画は、こども達が主体となり、中・高校生および学生が支援して壁面にウォールアート制作を行い、こども達は楽しいアート体験による発達促進、中・高校生および学生はアート制作という「作業」がこどもの発達への影響について実践的に体験する機会として実施しました。1回目の開催時には本学作業療法学科教員の畠山先生からアート制作という「作業」とこどもの発達の関わりについての解説も行われました。

イベントには近隣の保育園・幼稚園・小学校・中学校の生徒達が参加し、東陽町・木場近辺のこども達（2才から小学校4年生まで）が壁面アートに挑戦し、アート制作を通じた新たな地域交流の機会となりました。

こども達は筆だけでなく、廃材を使ったスタンプ・スポンジ・指などを使い、最後は手のひらに塗料をつけて豪快に塗っていました。

計2回のイベントで描いたウォールアートは「61m」となり、大学校舎内の壁面に描かれたウォールアートとしてはおそらく日本一長いウォールアートが完成しました。

また、今回のイベントを実施するにあたり、大学近隣の東陽中学校の創作部の生徒5名がアート制作、イベント運営を体験するインターンシップ生として参加してくれました。アートに関する仕事に興味を持つ生徒達が、前日の準備から当日のこども達の支援、最後の仕上げ作業まで行い、ウォールアートの完成に協力してくれました。

【制作の様子はこちらから】

- ① こども達と一緒に校舎をアート作品にしよう！



https://youtu.be/_sELlcASXeY

- ② アートを通して地域の交流を深めます



https://youtu.be/fMWu4ZG_wRs

- ③ ウォールアート制作で中学生向けインターンシップ



<https://youtu.be/fhr9Ues5eJw>



当日の制作の様子①



当日の制作の様子②



当日の制作の様子③



完成したウォールアート

装束型サイボーグ「HAL」体験授業が行われました

2024年10月16日、「リハビリテーション医療工学」の授業で、装束型サイボーグ「HAL」のデモンストレーションが行われました。

当日は「CYBERDYNE 株式会社」の小山さんにお越しいただき、「HAL」がリハビリテーションの現場でどのように導入され、効果を上げているのかについて、豊富な事例をあげてご説明いただきました。

その後、学生が実際に「HAL」を装着し、一つひとつの機能について説明いただきました。

最後に授業担当教員である本学理学療法学科教員の安田先生より「理学療法士がロボットを使ってリハビリをおこなうことが一般的になってきている。今日は最新の知見を知るとともに、医療保険や経営、企業の海外進出等についても学ぶ機会になり、専門職大学に求められる知識やスキルにとっても近い話だった」という言葉がありました。

学生たちからは授業終了後も小山さんへの質問が30分以上続き、学生達の関心の高さが見受けられました。
【授業後アンケートに記載された感想】

- 今回の授業で初めてロボットスーツ HAL を知った。動きのサポートだけではなく筋力トレーニングもできるということにびっくりした。
- 入学前にロボットスーツのニュースを見たことがあったので、実際に着用しているところを近くで見ながら利用者の動画や海外での話などを聞くことができ、とてもいい体験になった。
- 医療者とは違い、営業の人だからその視点や、海外と連携した日本への保険導入の取り組み等、大学の授業では聞けない戦略を知ることができた。
- 医者にもう歩けないと言われた方も歩くことができたり、立ち座りをスムーズに行えたりするのは、患者さんの生きることにに対するモチベーションを上げることができると思う。



装束型サイボーグ「HAL」



授業の様子①



授業の様子②

